

令和5年度釧路市立北中学校「学校評価『保護者アンケート』」【12月】

【結果分析】

4：している 3：どちらかといえばしている 2：あまりしていない 1：していない

評 価 項 目		4	3	2	1
1	私は、子どもが自分のよさに気付くように働き掛けている。	21.4%	59.2%	18.4%	1.0%
		23.2%	67.1%	9.8%	0.0%
2	私は、子どもが人（友達や家族など）の役に立つ喜びを実感できるように働き掛けている。	19.4%	62.1%	16.5%	2.0%
		30.5%	57.3%	12.2%	0.0%
3	私は、子どもが人（友達や家族など）に優しい気持ちで接することができるように働き掛けている。	39.8%	52.4%	5.8%	2.0%
		50.0%	42.7%	7.3%	0.0%
4	私は、子どもが人（先生や友達、家族など）の言うことを受け止めることができるように働き掛けている。	35.0%	59.2%	4.8%	1.0%
		32.9%	58.5%	8.5%	0.0%
5	私は、子どもが「みんな違って当たり前」だと思えるように働き掛けている。	43.7%	45.6%	9.7%	1.0%
		43.9%	45.1%	11.0%	0.0%
6	私は、子どもが自分らしさを大切にできるように働き掛けている。	42.7%	44.7%	10.7%	1.9%
		37.8%	50.0%	12.2%	0.0%
7	私は、子どもが人（先生や友達、家族など）のよい面を見付け、認めることができるよう働き掛けている。	27.2%	57.3%	14.6%	0.9%
		29.3%	63.4%	7.3%	0.0%
8	私は、子どもが相手のことを考えて話したり、行動したりできるように働き掛けている。	40.8%	51.5%	5.7%	1.0%
		36.6%	57.3%	6.1%	0.0%
9	私は、子どもが誰とでも話したり、協力したりできるように働き掛けている。	26.2%	55.3%	16.5%	2.0%
		23.2%	57.3%	15.9%	3.7%
10	私は、子どもが人（先生や友達、家族など）に対して尊敬の気持ちをもつことができるように働き掛けている。	27.2%	51.5%	19.4%	1.9%
		29.3%	56.1%	13.4%	1.2%
11	私は、子どもが何事も自分事として考えることができるように働き掛けている。	23.3%	55.3%	19.4%	2.0%
		25.6%	56.1%	18.3%	0.0%
12	私は、子どもが自分の考えをもつとき、理由も一緒に考えることができるように働き掛けている。	17.5%	56.3%	23.3%	2.9%
		26.8%	47.6%	25.6%	0.0%
13	私は、子どもが人（先生や友達、家族など）に頼らずに考えることができるように働き掛けている。	15.5%	53.4%	28.2%	2.9%
		19.5%	50.0%	29.3%	1.2%
14	私は、子どもが辛かったり嫌だったりすることを率先して取り組むことができるように働き掛けている。	16.5%	55.3%	24.3%	3.9%
		17.1%	50.0%	29.3%	3.7%
15	私は、子どもが自分の考えを、自分の言葉で伝えることができるように働き掛けている。	34.0%	54.4%	10.7%	0.9%
		31.7%	62.2%	6.1%	0.0%
16	私は、子どもが相手の立場を考えて、自分の考えを伝えることができるように働き掛けている。	22.3%	58.3%	17.5%	1.9%
		23.2%	61.0%	15.9%	0.0%
17	私は、子どもが相手の考えを尊重して聞くことができるように働き掛けている。	21.4%	60.2%	15.5%	2.9%
		28.0%	54.9%	17.1%	0.0%

18	私は、子どもが自分の役割を、責任をもって果たすことができるように働き掛けている。	38.8%	52.4%	7.8%	1.0%
		37.8%	58.5%	3.7%	0.0%
19	私は、子どもが自分のために意欲的に授業や学校行事に臨むことができるように働き掛けている。	29.1%	50.5%	19.4%	1.0%
		28.0%	56.1%	15.9%	0.0%
20	私は、子どもが授業等で分からないことがあったとき、自分で調べたり、先生や友達に聞いたりできるように働き掛けている。	32.0%	50.5%	16.5%	1.0%
		39.0%	45.1%	11.0%	4.9%
21	私は、子どもが自分で計画して家庭学習に取り組むことができるように働き掛けている。	16.5%	49.5%	31.1%	2.9%
		24.4%	41.5%	25.6%	8.5%
22	私は、子どもが困難なことでも、諦めることなく取り組むことができるように働き掛けている。	24.3%	57.3%	15.5%	2.9%
		26.8%	53.7%	19.5%	0.0%
23	私は、子どもが目標の実現のために、粘り強く取り組むことができるように働き掛けている。	22.3%	55.3%	21.4%	1.0%
		25.6%	53.7%	19.5%	1.2%
24	学校は、生徒たちが未来社会の創り手となる資質・能力を獲得するための授業を行っている。	15.5%	70.9%	11.7%	1.9%
		20.7%	67.1%	12.2%	0.0%
25	学校は、生徒たち一人一人の学習の状況に寄り添った学びを保障している。	21.4%	56.3%	18.4%	3.9%
		17.1%	61.0%	20.7%	1.2%
26	学校は、いじめなどの問題行動に毅然として対応している。	18.4%	61.2%	18.4%	2.0%
		22.0%	68.3%	8.5%	1.2%
27	学校は、保護者に対して各種情報を積極的に発信している。	27.2%	54.4%	14.6%	3.8%
		37.8%	52.4%	8.5%	1.2%
28	学校は、生徒たちにとって安心・安全な場所になっている。	23.3%	59.2%	16.5%	1.0%
		28.0%	59.8%	12.2%	0.0%

上段は7月、下段は12月の集計

【学校改善のアイデア】

- 何事にも柔軟に対応できる学校になるよう検討できないでしょうか。例えば、「化粧」についての捉え方として、コンプレックスの解消（生まれつきのあざを隠す等）に役立つのであれば可能など、検討できないでしょうか。「TPOに合わせたメイク」等の出前講座を教育課程に位置付けられないでしょうか。
- 全ての生徒が安心して通える学校になるよう検討できないでしょうか。
- 欠席等の連絡について、電話ではなく「39メール」を活用するよう検討できないでしょうか。
- 保護者が学校教育に関わる機会の創出を検討できないでしょうか。
- 生徒の学習状況を踏まえた少人数指導は有効であると考えてるので継続するよう検討できないでしょうか。
- これからの学校教育において、小中連携は重要であると考えます。このことから、小学校への中学校教員による「出前授業」の充実が図られるよう検討できないでしょうか。
- 欠席した生徒の保護者に対して、当日の授業の学習内容や提出物等を連絡するよう検討できないでしょうか。
- 欠席した生徒の学びの保障として、当日の板書を撮影して、端末等に送信するなど検討で

きないでしょうか。

- 特別支援学級の在り方について検討できないでしょうか。例えば、合唱祭において特別支援学級に特別賞が贈られましたが、違和感がありました。特別支援学級は「特別な学級」なのでしょうか。「インクルーシブ」という視点を確実に取り入れた教育活動を展開できるよう検討できないでしょうか。

【改善の方向性】

- 13 何事も子どもに「任せてみる」という姿勢を保護者としてもちたい。子どもが解決困難な課題に出会っても、考え方は示すが、解決方法は最後まで考えさせるなど、徹底していきたい。
- 14 保護者として率先して辛いこと、嫌なことに取り組む姿勢を示したい。そして、そのことが社会など、多くの人たちの役に立つことを気付かせたい。
- 21 子どもたちが社会の主役になる 2040 年代の状況について、保護者として理解し、子どもに継続的に伝えていきます。また、日常生活において、保護者が自己調整力を発揮して様々な課題を解決している姿を意図的・継続的に示すようにします。

※ 肯定的な回答が7割未満の質問項目を課題として捉え、改善の方向性を示しています。